保存版

住宅用火災警報器を取り付けたその後に…

住宅用火災警報器は、「いざ」というときに、きちんと作動しなくてはいけません。

万が一のために、警報が鳴ったときの正しい対処方法を知っておきましょう。

1 警報が鳴ったときは・・・

火災のとき

火元を確認し、避難してください。
１１９番通報や、可能なら初期消火を行ってください。

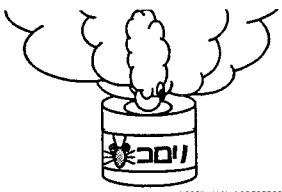
火災ではないとき

・　たばこの煙、調理の湯気や煙などを感知して、警報が鳴ることがあります。警報音停止ボタンを押す（ひもがついているタイプのものは、ひもを引く）か、室内の換気をすると警報音は止まり通常の状態に戻ります。

⇨ 台所などで、火災ではないのにひんぱんに警報が鳴る場合は、煙や湯気が直接かからない場所に警報器の場所を変えるか、熱式の警報器に取り換えてください。

・　煙の出る殺虫剤などを使用すると、警報が鳴ることがあります。警報器を取り外す、または、ビニール袋で覆うなどしてください。

⇨ 煙の出る殺虫剤などを使用した後は、すみやかに元に戻してください。



電池切れのとき

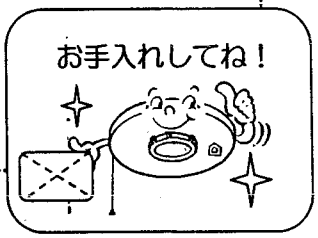
・　ピッ・・・ピッ・・・と短い音が一定の間隔でなる場合は、電池切れの注意音です。火災ではありません。電池を新しいものに交換してください。機器ごと交換する機種は、新しい警報器に交換してください。

2 お手入れ方法

・　警報器にほこりがつくと、火災の煙を感知しにくくなります。年に１回は、乾いた布でふき取りましょう。

・　台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。家庭用中性洗剤を浸して十分絞った布で軽くふきとって下さい。

・　故障の原因になりますので、警報器の内部に水が入らないように注意して下さい。



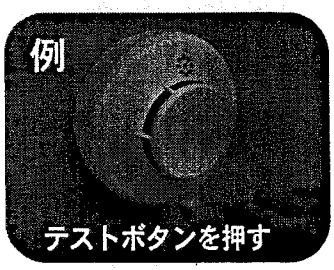
3 作動テストをしましょう！

定期的に、警報器が正常に作動するかテストしましょう！
また、次のときは必ず作動テストをしてください。

- ●初めて警報器を設置したとき
- ●設置場所を変えたとき
- ●掃除をしたとき
- ●長い間留守にしたとき
- ●故障や電池切れの疑いがあるとき

テストの方法

テストボタンを押す、または、ひもを引くなど機種によって異なります。取扱説明書をご確認ください。



音が鳴らない・・・　→次のことを確認してみてください。

- 電池は、きちんとセットされていますか？
- 電池切れではありませんか？
- それでも鳴らないときは、故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。

◆ ご注意ください！◆

①　警報器の機種によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ず確認してください。

②　お手入れやテストは、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を安全に行ってください。

≪お問い合わせ先≫
麹町消防署　警防課　生活安全担当
電話０３－３２６４－０１１９（内線３８０）